

船舶事故等調査報告書

平成21年11月26日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009門第124号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年8月9日（日） 13時00分ごろ	
発生場所	福岡県福岡市玄界港第6号防波堤南灯台から真方位190° 1.8海里付近の海岸（概位 北緯33° 39.1′ 東経130° 14.0′）	
事故等調査の経過	平成21年8月10日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 プレジャーボート さくら、2.6トン 船舶番号、船舶所有者等 290-59693福岡、有限会社新日本文化産業（船舶借入人）	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	左舷中央部に長さ約60cmのき裂	
事故等の経過	<p>本船は、船長1人が乗り組み、友人等7人を乗せ、船首約0.3m、船尾約1.2mの喫水で、福岡湾を遊走したのち、福岡県唐泊漁港の北方約1000m付近において、約10kgの錨を船首方に投錨し、錨索を約7m延出して錨泊した。その後、船内で昼食準備中、本船は、走錨して船首を西方に向けた状態で平成21年8月9日13時00分ごろ、玄海港南方の海岸に乗り揚げた。</p> <p>その後、同乗者6人は、海岸に上陸して救助された。</p> <p>船長ほか1人は、本船から連絡を受けたマリナーの所属船により帰港した。</p> <p>本船は、翌10日、マリナーの所属船により、離礁され、えい航されていたが、北緯33° 38.12′、東経130° 15.88′ 付近で浸水し、えい航ロープが切断して沈没した。</p> <p>その後、サルベージ船に救援を依頼し、引き上げられてマリナーに到着した。</p>	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北東、風力3、視界 良好 海象：うねり なし、波高 なし	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、唐泊漁港の北方沖において錨泊中、北東風などにより、圧流されて、玄海港南方の海岸に乗り揚げたものと考えられる。 船長は、昼食の準備に専念していたので、走錨していることに気付かなかったものと考えられる。
原因	本事故は、本船が唐泊漁港の北方沖において錨泊中、船長が昼食の準備をしていて走錨していることに気付かなかったため、北東風などにより圧流されて玄海港南方の海岸に乗り揚げたことにより発生したものと考えら	

	れる。
--	-----